

# 会報

平成25年1月15日

# てんりゅう



## 遠州と信濃を結ぶ秋葉街道を見下ろす山城“高根城”

高根城は遠州最北端に位置する山城で、標高420mの通称三角山の山頂部を中心に築かれています。高根城址からは水窪町中心部及び北遠と南信濃を結ぶ主要街道を見下ろすことが出来、この一本の主要街道を押えることと信遠国境警備を目的として築かれた城です。

城は山頂部に本曲輪・二の曲輪・三の曲輪を南北に配し、各曲輪間には堀切が設けられています。現在は井櫓櫓、城門、柵条が復元され、ここから見下ろすと水窪の市街を一望できます。

会報てんりゅう 第105号

(一社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562  
編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦 FAX(053)925-6468  
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>

# 平成25年 年賀状

## 謹賀新年

旧年中は格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。  
今年も会員の皆様とともに社会資本整備を通じて  
地域の「安全・安心」に貢献していきます。

平成二十五年 元旦

一般社団法人天竜建設業協会  
会長 長谷川 智彦

(一社)天竜建設業協会  
会長 長谷川 智彦

謹んで新春のお祝辞を申し上げます。

今年は、会員の皆様が内陸フロンティアの  
バイオニアとなるチャンスの年であります。

このチャンスを官民一体となって活かしていきましょう。  
皆様にとりまして更なる発展の年となりますよう、  
お祈りいたします。

平成二十五年 元旦

浜松土木事務所天竜支局長  
松浦 賢実

## 謹賀新年

協会員皆様の  
ご多幸と繁栄をお祈り申し上げます

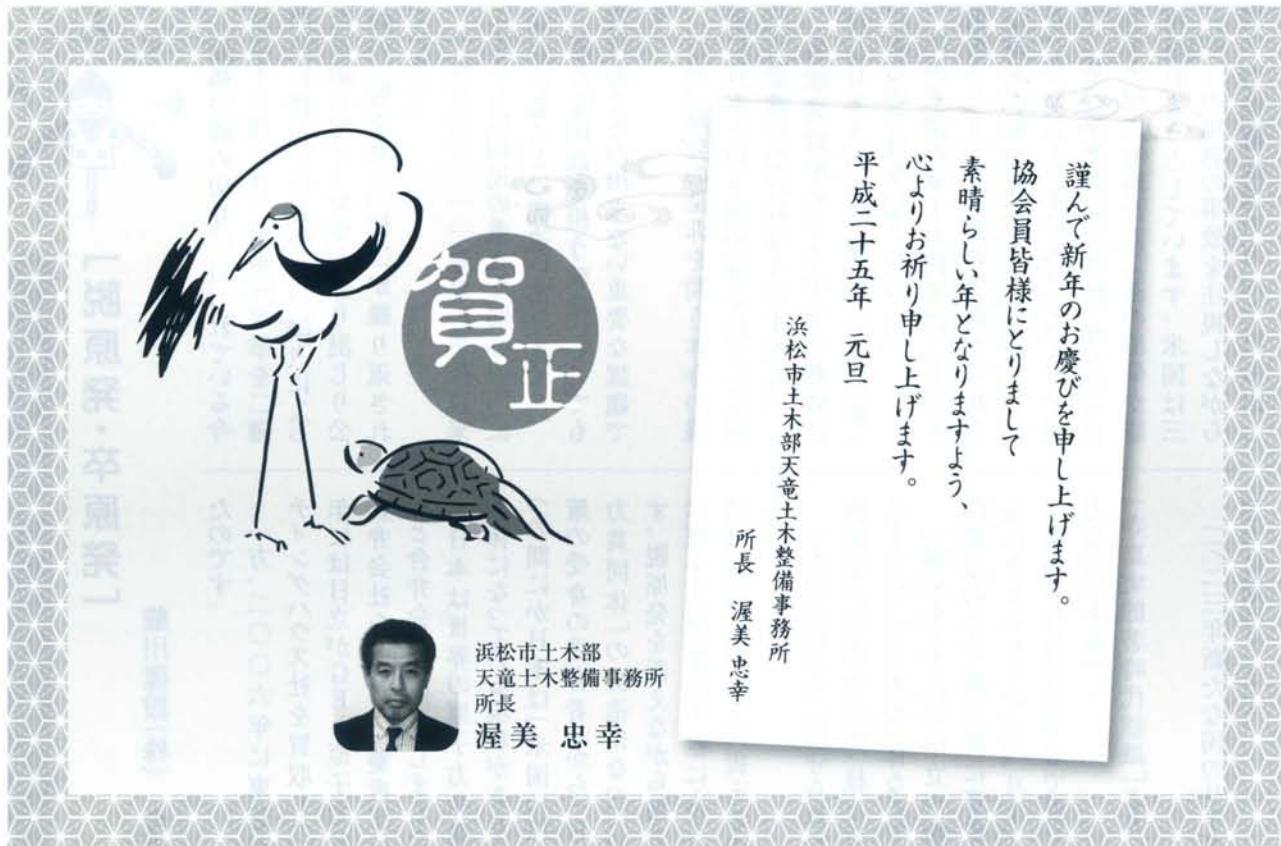
平成二十五年 元旦

西部農林事務所天竜農林局長  
平井 孝紀

西部農林事務所  
天竜農林局長  
平井 孝紀

浜松土木事務所  
天竜支局長  
松浦 賢実





## てんりゅう



## 「脱原発・卒原発」

龍川建設(株) 今場嘉寿

原稿の締め切りに追われている今日は十二月二日。衆議院選挙を二週間後に控えている昨年の師走に入った日曜日です。新党が入り混じり公約の「脱原発」の報道が繰り返されています。

一昨年の三・一一福島の事故以来このことは国民の重大な関心の一つになつてゐることは間違いありません。

新たな国政を担う政党にとっても避けることの出来ない重要な課題です。

ただ、原発の是非を問う昨今の議論に日本という国が置かれている現状を認識しなければなりません。

尖閣諸島をめぐる中国の脅威に対し日本人の安心感は「日米同盟」にあるのではないでしようか。

その米国の原子力政策は三十三年前のスリーマイル島の事故から新たな原発の新設は認められませんでした。ところが昨年に入りジョージア州で二基の原発が認可され、サウスカロライナ州にも新たに二基の原発が認可されようとしています。米国は三つの福島の事故を注視しながら原子力発電推進の方向を打ち出し

たのです。

一方、二〇〇六年に東芝がウエスチングハウス社を買収し二〇〇七年には日立がGEと原子力分野での合弁会社を設立し三菱重工は仏アルバと合弁会社を設立しました。

日本は世界の原子力産業の中核主導になつてゐる現状があります。い

つの間にか日本は「米国の原子力政策の受身の受容者」から「日米原子力共同体」の構造になつてゐるので脱原発を訴えながら他方外国では原子力産業の中枢にある日本を諸外国はどうのように捉えるのでしょうか。

「米国の核の傘」に守られながらの脱原発が可能なのか。核と原発はどうまで行つても表裏一体なのです。

「脱原発・非武装中立が峻厳な国際環境の中で瞬く間に空虚な理想論にさせられていった。リーダーとして求められるのは重層で逞しい構想力なのである」

「寺島実郎著時代認識」より  
二〇三年新たな国のリーダーの構想力に期待します。

## かんとくさん

西部農林事務所  
天竜農林局 森林経営課  
吉田 泰洋● 内陸フロンティアを  
拓(ひら)く取り組み

静岡県は、「内陸のフロンティアを拓く取り組み」の具体策

を盛り込んだ全体構想と、取り組みを円滑に進めるために必要な総合特区制度の活用方策をまとめ総合特区の指定を申請した。新東名高速道路の開通を契機とした内陸部の新たな開発と都市部の再生に向けた動きが本格化しそうだ。

東日本大震災の復興のモデルに。震災の発生後、新東名の開通を控えたタイミングで高齢化、過疎化が進んでいた県内の内陸部を切り拓く構想を打ち上げた。その具体策を示したのが「内陸フロンティアを拓(ひらく取り組み」だ。事業推進に向けた行政の先導を注視したい。



## 建設ギャラリー

工事名称 平成23年度 農地・農村用施設災害復旧事業上野篠戸地区1工事

工事場所 浜松市天竜区春野町篠戸大上

発注者 静岡県西部農林事務所長 谷正広

施工業者 天龍土建工業株式会社

工事概要 現場吹付法枠工382m<sup>2</sup>

簡易吹付法枠工312m<sup>2</sup>

集水ボーリング4本



本工事は、平成23年8月と9月の台風による法面崩壊の復旧工事だった。崩土が農道を覆い、通行止めとなった現場は自然災害の恐ろしさを見せ付けた。

工事は地山崩壊の恐れがあるため、農道に押え盛土(1,000m<sup>3</sup>)を施し、地山の動きを監視しながら法面頂部から法尻部までロックボルトとグランドアンカーを繰り返し打設させることで、地山を安定させ安全を確保して施工した。

農道の幅員も狭く急斜面での危険な作業環境であったが、地元の皆様のご理解とご協力のもと無事故で早期開通する事ができた。



## 私の安全パトロール日誌

安全指導員 (株)天竜アキヤマ 遠見石知

日頃は、建災防の安全パトロールには格別なご理解とご協力をいただき心から厚く感謝申し上げます。

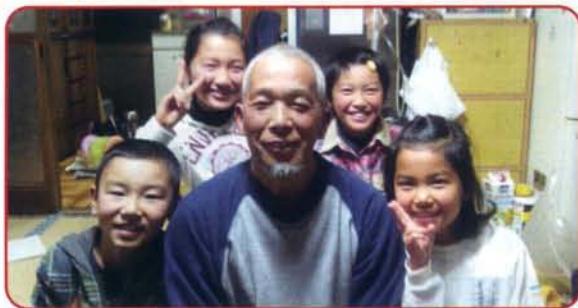
私は(株)アキヤマに在籍中は、安全指導員として天竜・龍山地区の安全パトロールでお世話なつておりましたが、(株)天竜アキヤマに移動して平成22年4月からは佐久間・水窪地区の担当となり皆さんのが現場におじやましています。

さて、このところ大変残念なことに重大災害が多発しております。なかでも林業関係の死亡事故は立て続けに起こり、昨年8月には林業災害防止研修会も行われましたが、11月佐久間管内に於いてまた死亡事故が発生してしまいました。

事故にはさまざまな原因があると思いますが、重大災害ともなると複数の問題点が多数重なったため発生しております、中でもいつもの作業の慣れや油断と過信が事故原因の一つであると強く感じます。

私も会社に戻れば一現場の代理人として安全管理にも取り組んでいるところですが、年末年始・年度末と忙しく慌ただしい時期となつてきましたが、災害を起こさぬよう気を引き締めて安全管理に取り組んでいかなければならぬと強く感じています。

## My Family



浜松市立水窪小学校六年 守屋 寧音

私の家族は九人です。曾祖母・祖父・祖母・父・母・長女寧音・次女里音・長男颯・三女伶音です。いつも怒鳴り声が響いているとてももうるさい家族です。祖父は土木の仕事をしています。いつも私達が学校に行つた後、出勤しています。父はダンプに乗つて砂・碎石、残土を運ぶ仕事をしています。深夜三時半には車庫を出発して働いています。

みんな一生懸命働いてくれる家族に私達子供は感謝しています。逆に感謝される側になるには、手伝いを自分からやつたり自分の事は自分でやることではないのかなと思います。なので私の目指す家族関係というのは、「感謝をして感謝をしてもらう」という家族関係を目指して日々頑張りたいと思います。

私は准看護師になり3年目です。今年の4月からひりゆうクリニックに入職しました。透析の病院なので一から透析の勉強をし、今でも毎日、

## Coffee Break

福寿会ひりゆうクリニック  
中村 澄さん

学ぶ姿勢を忘れずに頑張っています。患者様は、ほとんど方が高齢に近い方々なので、おじいちゃん・おばあちゃんがない(いても一緒に住んでいない)私にとっていろいろな話ができるとても楽しいです。

透析は一生行つていかなければならないことです。患者様のことです。

患者様が第一であるといふことを常に頭に入れていただきたいと思ひます。

**制度説明動画配信中!**

**明日に、掛ける。**

建設業界の皆様へ

**建退共への加入のおすすめ**

福祉の増進と企業の振興のための国退職金制度です

- 17万建設事業所が加入、291万人の建設現場の就業者が退職金支給対象となっています。
- これまでに累計で209万件、1兆4千5百億円の退職金をお支払いしています。(平成24年7月末現在)

**建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与!**

**特長**

- ◎法律に基づき運営される国が作った制度
- ◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給
- ◎掛金は全額非課税(損金または必要経費に算入できます)
- ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
- ◎国からの財政上の支援(国の助成により掛金の一部が免除)

**加入できる事業主**  
建設業を営む事業主

**対象となる労働者**  
建設業の現場で働く方

**こんなに有利**

掛金納付年数	掛金総額	退職金額
40年	312万円	563万円
35年	273万円	461万円
30年	234万円	372万円
25年	195万円	293万円
20年	156万円	221万円
15年	117万円	155万円
10年	78万円	94万円

**掛金は一日310円**  
(加入労働者ひとり)

お申込・お問い合わせ先  
**建退共静岡県支部**  
〒420-0857静岡市葵区御幸町9-9 TEL.054-255-6846

独立行政法人労働者退職金共済機構  
**建設業退職金共済事業本部**  
〒170-8055東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL.03-6731-2866

**建退共** **検索**